

# 植え付けサンゴ観察報告(万座、平成21年7月)

平成21年8月3日

チーム美らサンゴ

## 1 はじめに

植え付けたサンゴは、平成19年、20年夏の高水温による白化現象、21年春のオニヒトデによる食害など、幾多の試練に直面しています。しかしながら、全てが死滅した訳ではなく、幾つかの群体は、順調に成長を続けています。

そこで、今年は死滅したサンゴを地元チーム(漁協、万座ビーチ)で取替えるとともに、チーム美らサンゴの皆様にも、より多くのサンゴを植え付けてもらい、早期に1,000群体程度の規模を維持したいと思っています。

## 2 平成21年春の植え付け状況

平成21年春は、65名のダイバーの皆様にご参加いただき、今年から1人2本のサンゴを植え付けてもらいました。植え付けた種類は、ウスエダミドリイシ44本、ムギノホミドリイシ62本、ショウガサンゴ24本、合計で130本です。お疲れ様でした。

また、ノンダイバーの方には、植え付け用種苗55本を作成していただきました。この種苗は、通常ですと2~3週間後に海底へ植え付けしますが、今回は、夏場の高水温期が過ぎてから、海へ移動する予定です。

### 平成21年春(ダイバー)

日付	参加人数	植え付け種類と数	植付数	植付場所
5月16日(土)	1名	ウスエダ×2	2	R
5月17日(日)	18名	ウスエダ×20、ムギノホ×16	36	R
6月13日(土)	16名	ウスエダ×22、ムギノホ×10	32	S
6月14日(日)	30名	ショウガ×24、ムギノホ×36	60	S
	65名		130	

### 平成21年春(ノンダイバー)

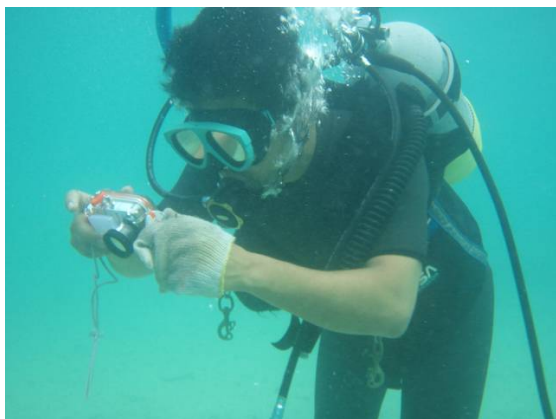
日付	参加人数	植え付け種類と数	植付数	植付場所
5月17日(日)	18名	ムギノホ×18	18	-
6月14日(日)	37名	ムギノホ×37	37	-
	55名		55	

資料:万座ビーチ

注:植え付けは、高水温時期を避けて行う予定です。

### 3 平成 21 年、第2回定期観察

- ①作業日 平成 21 年 7 月 10 日
- ②作業場所 恩納村万座ビーチ地先
- ③作業者 3 名
- ④作業内容 岩ごとの生存数・死亡数の確認、写真撮影、オニヒトデ駆除1匹



観察状況



タチハナガサミドリイシに魚が付きました。



平成 21 年春に植え付けたもの(09.6.14)



平成 20 年秋に植え付けたもの



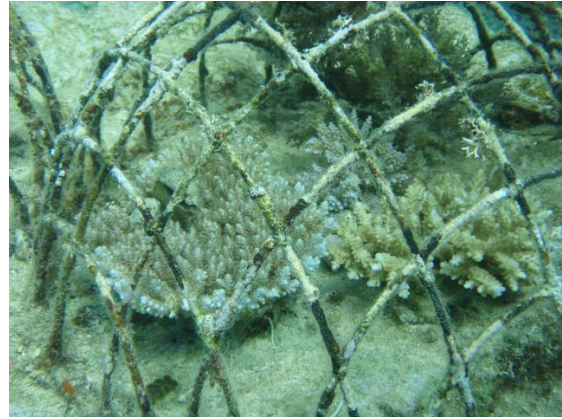
エダイボサンゴ(左)とショウガサンゴ(右)  
少しマニアックな組み合わせですね。



ヒメマツミドリイシ(左)と  
ムギノホミドリイシ(右)



ムギノホミドリイシの3本植え  
平成 20 年春植え付け



ムギノホ、ヤッコ、ホソエダの3種寄せ植え  
平成 20 年春植え付け



多種類の寄せ植えが成長したもの  
平成 19 年植え付け



ヤッコミドリイシ  
平成 19 年植え付け



ホソエダミドリイシ  
平成 18 年植え付け



コエダミドリイシ(左)と  
タチハナガサミドリイシ(右)  
平成 17 年植え付け

⑤観察結果

平成 21 年 4 月 30 日現在の生存植え付けサンゴ数は、184 群体でした。チーム美らサンゴの春の植え付け分として、R 岩に 38 群体、S 岩に 92 群体、計 130 群体を植え付けました。また、地元チームの 5 月 6 月分として 55 群体を植え付けました。春の植え付け数は、185 群体で、4 月 30 日からの死亡が 18 群体となっており、7 月 10 日現在で、351 群体となっています。

大きくなったサンゴや寄せ植えしたサンゴは、順調に育っています。また、今年より、植え付けたサンゴにミスジリュウキュウスズメダイなどの魚類が住み込んでいます。これは、保護カゴを外す良い機会だと思います。

平成21年7月の状況

岩記号	21.4.30	21年春 植え付け	21.7.10 調査	
	生存		生存	死亡
A	4		3	1
B				
C	9	4	13	
D	3		2	1
E	7		3	4
F	1	8	9	
G	4			4
H	4		4	
I	5		4	1
J	5	32	37	
K	10	7	17	
L				
M	5	1	6	
N	10	1	11	
O	73		69	4
P	18	2	20	
Q	26		23	3
R		春 38	38	
S		春 92	92	
計	184	185	351	18

## ⑥ 植え付け方法の移り変わり

植え付けたサンゴは、白化現象やオニヒトデによる食害と幾多の困難を乗り越えてきております。また、地元チームでは、より生存率を高めるため、植え付け方法の改良に取り組んできました。当初、植え付けたサンゴは、ブダイやカンムリベラなどによる食害やヤドカリによる破損などを受けました。そこで、保護ネットの設置から 10cm 角の保護カゴ、直径 35 cm の円形カゴの設置へと改良を行いました。また、植え付け方法も直植えからピン方式、基盤方式と改良を加えました。基盤への着け方も、縦付けから横付けへと変化し、1カゴに1本植える方法から、同じ親から株分けしたものの寄せ植え、異種の寄せ植えと変化してきました。

今年からは、1カゴに4つの基盤をセットする方法となりました。

## 5 今後の計画

### ① 保護カゴを外す

スズメダイなどの魚類が住み込んだサンゴは、カゴを外す方向で関係者と調整を行います。

### ② オニヒトデ駆除

オニヒトデによる食害を防ぐため、毎月オニヒトデの駆除を行います。

### ③ ノンダイバーが作成した植え付け用種苗

植え付け用種苗 55 本については、夏場の高水温期が過ぎてから、海へ移動します。

### ④ 秋の植え付けについて

秋の植え付けで、約 600 本の植え付けができるよう関係者と調整を行います。

### ⑤ ノンダイバープログラムの変更

現在、ノンダイバーの方には、植え付け用種苗を作成してもらい、漁業者が植え付けをしています。養殖用種苗の作成に変更できないか、関係者と調整を行います。



養殖当初は、魚による食害を受けました。



スズメダイなどの縄張りを持つ魚が住み込むと、サンゴを守ります。